

GPA 評価の導入について

GPA とは「Grade Point Average」の略で、学生が履修した科目の成績を数値化し、1 単位当たりの平均点で表したものです。厳格な成績評価が行えるとして、欧米では多くの大学が成績の指標として取り入れています。昨今、日本でも取り入れる大学が増えており、就活でも注目されるようになりました。本校でもこの GPA による評価を導入し、学生の学修指導に役立てることにしました。

この GPA による評価を用いることで、

1. 成績の伸び
2. 学習状況
3. 学生の各教科に対する取り組み

について客観的に判断することができます。

IVY では、1 年を前期と後期に分けていますので、各期ごとに評価を算出することになります。また、学科やクラスで GPA の分布をとり、下位 1 / 4 に属する学生には、担任より学修指導を行うこととなります。

GPA の計算方法

科目ごとの評価 (S, A, B, C, D) に応じて点数を与えます。

(S=4 点 A=3 点 B=2 点 C=1 点 D=0 点)

ここで、評価は、科目ごとに定めた評価基準をもとに、評価点が 90 点以上ならば S、80 点以上ならば A、70 点以上ならば B、60 点以上ならば C とし、59 点以下は D(不可)となります。

この評価と科目の単位数の積の合計を求めます。

それを受講総単位数で割った値が GPA となります。

計算例

科目	評価	単位数	点数
X001	S	2	$2 \times 4 = 8$
X002	A	3	$3 \times 3 = 9$
Y001	A	5	$5 \times 3 = 15$
Y002	B	2	$2 \times 2 = 4$
Z001	C	3	$3 \times 1 = 3$
Z002	B	2	$2 \times 2 = 4$
受講総単位数		18	合計 43

$$\text{GPA} = 43 \div 18 = 2.39$$

※小数点以下第三位の値を四捨五入する

一般的には、GPA の値により、次のような評価がされています。

- | | |
|---------|-----------------|
| 3.5～4.0 | 大変優秀な成績です。 |
| 3.2～3.4 | 優秀な成績です。 |
| 1.6～3.1 | 平均的な成績です。 |
| 1.0～1.5 | 努力を要する成績です。 |
| 0～0.9 | より一層努力を要する成績です。 |